

保護者の皆様へ

## 放課後の価値についてのメッセージ

拝啓

保護者の皆様におかれましては、アフタースクールの運営に多大なるご支援とご協力を賜り、本当にありがとうございます。私は、アフタースクールを運営させていただいている放課後 NPO アフタースクール代表理事の平岩国泰と申します。このたび改めて、私たち組織が放課後の価値をどのように考え、子どもたちにとってどんな時間であってほしいかをお伝えしたく、お便りをさせていただきました。

私たちは16年前に活動を始めました。子どもを襲う事件の多発、遊び場の減少、学童保育の不足、小1の壁という状況に危機感を感じ、学校を活用したアフタースクールを提案し、活動を続けております。私自身は昭和の時代の小学生で、放課後といえどとにかく自由に遊ぶ環境で過ごしました。時代と共に放課後は制約が多くなり、大切な“時間・空間・仲間”の3つの間が失われつつあります。時代の針は戻りませんので、現代に合ったアフタースクールでこの大切な3つの“間”を子どもたちに届けたいと願っております。

放課後は子どもたちの成長にとって極めて価値ある時間であります。以下のようなデータがあります。

小学校低学年 学校で過ごす時間：年間 1,200 時間 放課後と長期休みの時間：年間 1,600 時間
---

学校の時間よりも、放課後や夏休みなど長期休みを合わせた時間の方が長いのです。もちろん学校が大切なことは変わるものではありませんが、放課後の過ごし方も大変重要であると言えます。

私たちは、放課後の時間には特に6つの価値があると考えています。この価値はAI等の変化の激しいこれからの社会を生き抜く上でもますます重要度が増していると感じています。

自由…自己決定すること	挑戦…チャレンジすること	夢中…没頭すること
多様…ありのままよいこと	社会…社会とつながること	仲間…かけがえのない友人ができること

この中でとりわけ重要なのが、「自己決定」だと考えています。自分の過ごし方を判断して、自己責任を取っていく。放課後はそんな自立のデビューの時間です。「〇〇をやりたい!」「こんなものを作りたい!」という自発的な活動をますます期待しています。ぜひプログラムのない日にもアフタースクールに来て、自由に過ごしてほしいです。高学年になっても、高度な活動やリーダーシップを発揮しに来てほしいと願っています。

2019年に私たちの組織が法人化10周年となったことを機に、改めて組織のビジョンを定めました。

## 放課後はゴールデンタイム

今はピンチの時間として語られる放課後を、改めて子どもたちにとって輝かしいチャンスのある時間としていきたいと考えております。「どの子にも絶対にいいところがある!」と私たちは固く信じております。全ての子どもたちのいいところを必ず見つけ、伸ばしていくゴールデンタイムになるように一同全力で頑張ります。

保護者の皆様も放課後にご期待いただき、叱咤激励ください。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

敬具

2020年3月吉日

放課後 NPO アフタースクール代表理事 平岩国泰